

北陸信越地方交通審議会答申

北陸信越地域(新潟県、長野県、富山県及び石川県の地域)のおおむね10年後の公共交通のあるべき姿)

北陸信越地方交通審議会では、北陸信越地域(新潟県、長野県、富山県及び石川県の地域)の公共交通の維持・整備及び地域の交通環境の改善について、同地域における課題を把握し、幅広い視野と長期的な展望に基づいて施策の方向性を示し、公共交通の指針を確立するため、北陸信越地域におけるおおむね10年後の公共交通のあるべき姿について、平成15年3月から6回にわたり審議会を開催してきた。

平成17年3月30日、第6回審議会が行なわれ、答申案について委員の了承が得られ、北陸信越地方交通審議会会長から北陸信越運輸局長に対し答申が行なわれた。

北陸信越地方交通審議会開催状況

◆第1回北陸信越地方交通審議会 (平成15年3月3日開催)

諮問:「北陸信越地域(新潟県、長野県、富山県及び石川県の地域)におけるおおむね10年後の公共交通のあるべき姿について」

◆第2回北陸信越地方交通審議会 (平成15年7月30日開催)

◆第3回北陸信越地方交通審議会 (平成15年12月8日開催)

◆第4回北陸信越地方交通審議会 (平成16年6月11日開催)

◆第5回北陸信越地方交通審議会 (平成17年2月21日開催)

◆第6回北陸信越地方交通審議会 (平成17年3月30日開催)

北陸信越地方交通審議会 答申



北陸信越地方交通審議会答申の概要

北陸信越地方交通審議会答申のフォローアップ

北陸信越地方交通審議会答申「北陸信越地域（新潟県、長野県、富山県及び石川県の地域）のおおむね10年後の公共交通のあるべき姿」は、北陸信越地域における公共交通の現状課題とその目指すべき方向を記述した「未来の日記」と日記に書かれた目指すべき方向を実現するために、重点に取り組むべき施策を記述した「**取り組むべき施策**」に区分され、「**取り組むべき施策**」では、

○北陸信越地域の活性化

○日常生活の足としての公共交通の役割

○公共交通と自家用自動車の共存

○安全・安心・やさしい公共交通の実現

という4つの命題を設け、命題ごとに重点的に取り組むべき施策を示している。

今回の審議会においては、「**取り組むべき施策**」に関し、これまで実施されてきた主な取り組みについてフォローアップを行うもの。

北陸信越地方交通審議会答申「取り組むべき施策」の概要

命題Ⅰ 北陸信越地域の活性化

「少子高齢化、経済低成長が進展し、定住人口の減少又は横ばいが見込まれる中、地域の活力を高め、交流人口の増大に資するため、公共交通はどのような方向を目指すべきか。」

さらに、「**テーマ1** 北陸信越地域の活性化、地域間連携や観光交流の促進のための公共交通のあり方（幹線交通及び二次交通）」と「**テーマ2** 地域内交流を活性化させるため、公共交通はどのような方向を目指すべきか」というテーマを設定。

命題Ⅱ 日常生活の足としての公共交通の役割

「日常の足としての公共交通が果たすべき役割とは何か。」

命題Ⅲ 公共交通と自家用車の共存

「クルマ社会が進展している北陸信越地域において、公共交通とそれを補完する交通のあるべき適切な役割分担・連携はどのようなものか。」

命題Ⅳ 安心・安全・やさしい公共交通の実現

「『安全・安心・やさしい』交通の実現のため、公共交通が目指すべき方向性とはいかなるものか。」